

2011年(平成23年)3月11日(金曜日)

江戸末期に開削 道内の山道紹介

中央図書館でパネル展

江戸時代末期に道内各地で作られた山道を紹介するパネル展「明治以前の蝦夷地山道展」が札幌市中央図書館(中央区南22西13)で開かれている。



地図や写真などで道内各地の山道を紹介するパネル展

留萌管内増毛町と石狩市浜益区を結ぶ増毛

山道の復元に携わるNPO法人「増毛山道の会」(伊達東会長)が企画。

道内に存在したとされる33の山道のうち、

増毛、猿留(日高管内えりも町内)、様似(同管内様似町内)、礼文(胆振管内豊浦町)、渡島管内長万部町)、

濃屋(石狩市厚田区内)の5山道に関する写真20点、パネル12点のほか、地図や関連書籍などが展示されている。

12日午後1時から同館で「道内山道サミ

ツト」が開かれ、5山道の自治体関係者らが山道復元への取り組みなどを紹介する。伊達会長は「先人が切り開いた山道について多くの人に関心を持ってほしい」と話している。

入場無料、直接会場へ。問い合わせは伊達会
長☎561・0608へ。
(伊東由衣)